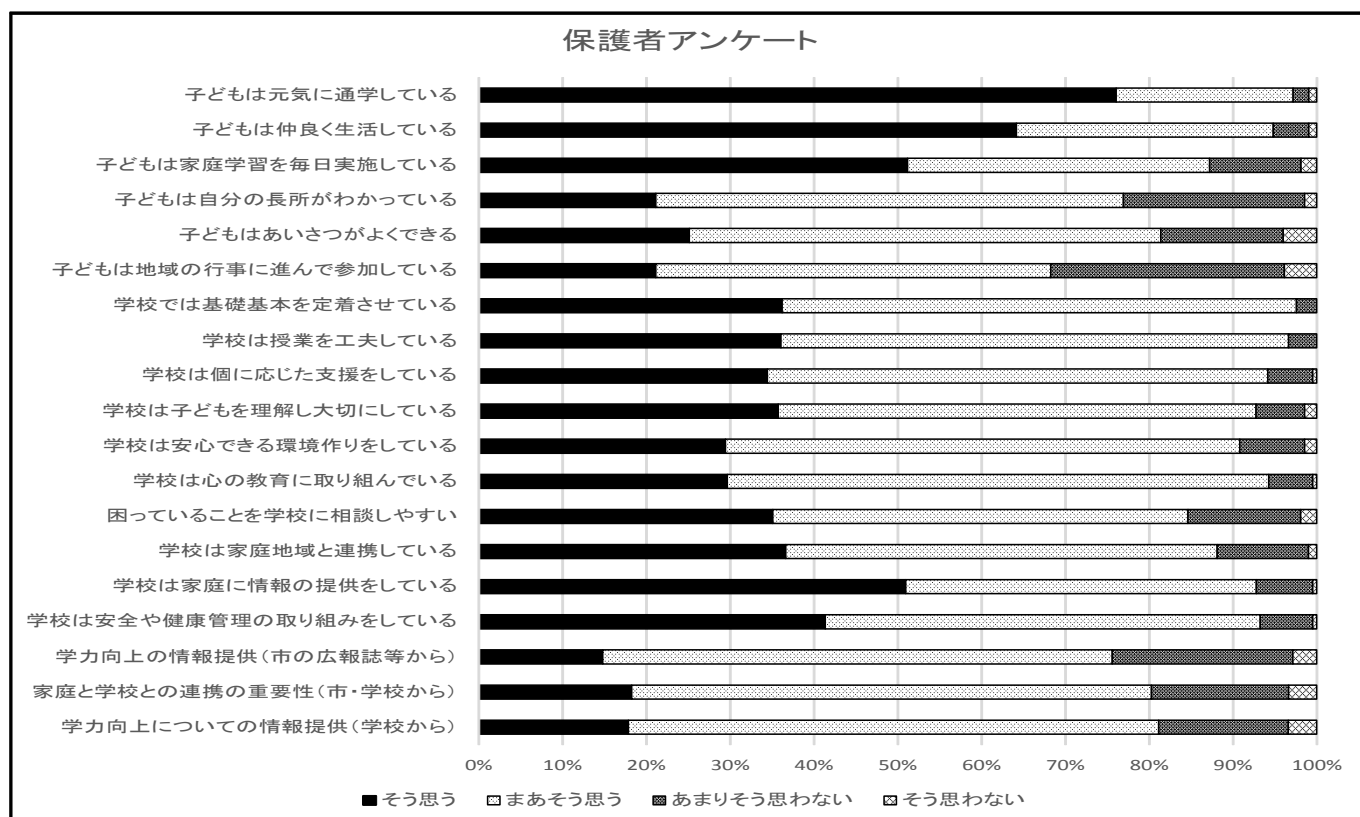
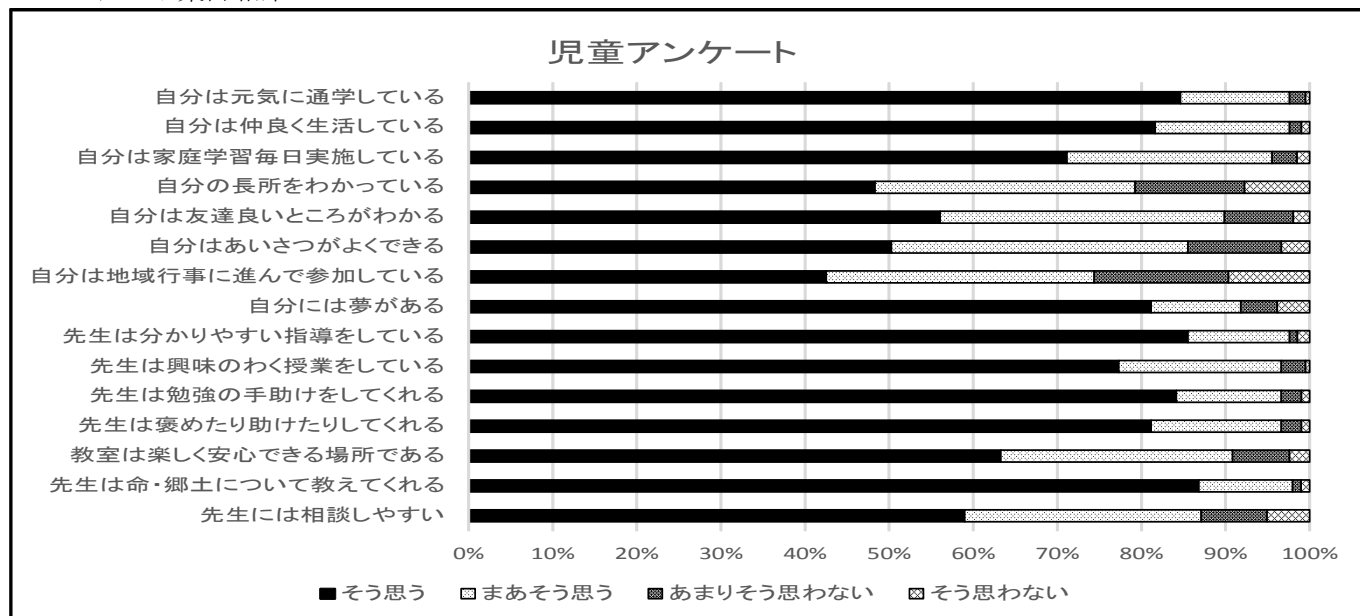


### 3.学校評価(平成29年度 第2回目)

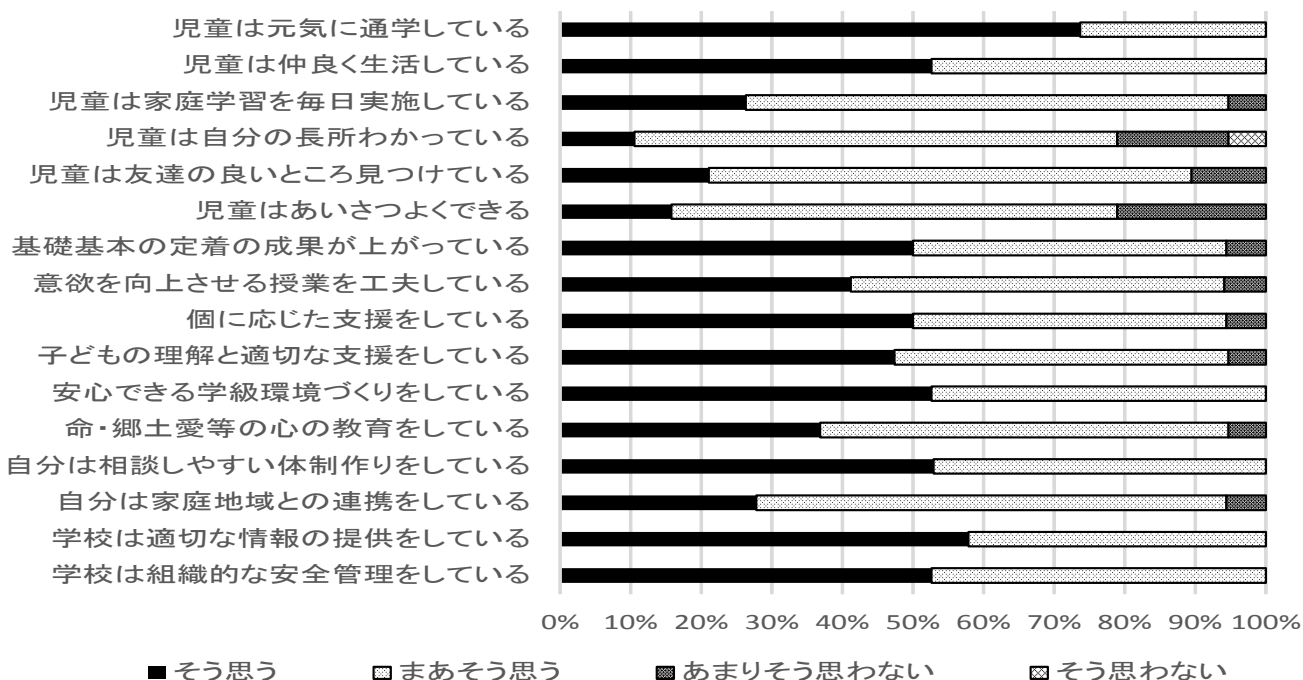
ここでは、2月に実施した平成29年度の第2回目の保護者・児童からの学校評価と教員の自己評価についてお知らせしています。集計の結果から、『そう思う』+『まあそう思う』を【良い点】、『あまりそう思わない』+『そう思わない』を【改善点】と捉え、分けて記述しました。

お忙しい中、評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

#### <アンケート集計結果>



## 教職員



回答に対し、「そう思う」「まあそう思う」を肯定的な意見、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見としてとらえました。

### 【よい面】

- ・「家庭学習を毎日行っている」については、2年間で児童10.1p、保護者5.5pほど肯定的な意見が増えています。これは、保護者の皆様のご協力あってのものだと感謝しています。今後も、よい自主学習ノートの例などを示したりしながら、好ましい学習習慣の定着に努めていきます。
- ・保護者アンケートの「個に応じた支援」「授業の工夫」「基礎基本の定着」、児童アンケートの「興味のわく授業（授業の工夫）」について肯定的な意見が前年度より増えています。鹿嶋市では、全小中学校で授業改善を進めていますので、このような回答が得られたことは大変嬉しく思います。これからも、子どもたちが進んで学びたいと思えるような授業の工夫改善をしていきます。
- ・児童アンケートでの「先生には相談しやすい」について、肯定的な回答が増えました。学校では教育相談期間を設けていますが、大切なのは日々の児童観察だと考えています。気になる様子が見られた児童には何気ない会話をと話しやすい雰囲気づくりをしたり、個別に話す機会を設けたりしています。

### 【改善面】

- ・児童アンケートの「自分の長所をわかっている」「自分はあいさつがよくできる」は肯定的な意見が減ってしまいました。前者については、友だちからの「いいところ見つけ」の内容の質を上げていくとともに、教師からの「あなたのこういうところがいい」というような具体的な称賛に更に努めていきます。ご家庭でもお願いします。
- ・「あいさつ」については、以前から本校の課題となっているところです。あいさつ運動や教師からの率先垂範だけでなく、各学級や学年での工夫した取り組みも考えていきます。これからも地域や家庭と連携して身に付けさせていきましょう。
- ・保護者アンケートの「困っていることを学校に相談しやすい」では、子どもアンケートとは反対に、肯定的な意見が減ってしまいました。子どもたちの学校生活をよりよいものにしたいというのは、保護者の皆さんも教員も同様です。情報交換の気持ちで声をかけていただけたらと思います。また、教員も進んで保護者の皆さんにあいさつやお声かけなどをし、会話のきっかけ作りができるように努めます。